

1 未来の東京と子供の姿

1) 2050年代の東京の姿

- 「新たな教育のスタイル」で自由で多様な学びが展開
- 世界を舞台に新たな価値を協創する人材を輩出
- 東京の教育の仕組みを日本の教育のスタンダードに

2) 未来の東京に生きる子供の姿

- 自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる
- 他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する

2 東京の目指す教育

1) 東京の目指す教育

誰一人取り残さず、
すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育

2) 東京の目指す教育の実現に向けた3つの学び

- 子供の意欲を引き出す「学び」
- 社会全体の力を生かした「学び」
- ICTの活用による「学び」



3) 東京型教育モデルのバージョンアップ

キーワード「LPX」 Learning Platform Transformation

- LPXで教育をどう変えていくか
- 今の学びのあり方を見直し「新たな教育のスタイル」に変革

3 特に重要で優先的に取り組む事項

1) 「新たな教育のスタイル」を都立高校から展開

東京発のデジタルとリアルを融合した学習者中心の新しい学び

例 LPXの展開、新しい科目（アントレプレナーシップ等）、LMSの活用、外部の指導者 等

2) デジタルを活用した学び方の転換

子供がICTも活用しながら、学びのプロセスを自ら決定する授業

例 生成AIの活用促進、デジタル教科書の導入等

3) 世界を舞台に活躍できる人材の育成

言葉の壁を乗り越え、国内外の課題を解決していける力を伸ばす

例 グローバル教員の育成、ミネルバ大との交流 等

4) 一人一人の子供の状況に応じたきめ細かな教育の充実

自分らしく成長できる多様な学びの場と居場所を学校内外に整備

例 スクールカウンセラー等の専門人材充実、不登校の子供を含めた居場所づくり、中学校35人学級の推進等

5) インクルーシブな教育の推進

共生社会の実現に向け、多様な背景を持つ子供たちが共に学び、共に伸びる

例 進学・就労支援、専門人材の活用促進、特別支援学校と高校との協働 等

6) 子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化

BPXを通じた働き方改革の抜本的な推進などにより、教育の質を向上

例 業務のアウトソーシング、在校時間の見える化、TEPROによる学校支援 等